

さあ、
世界へ！

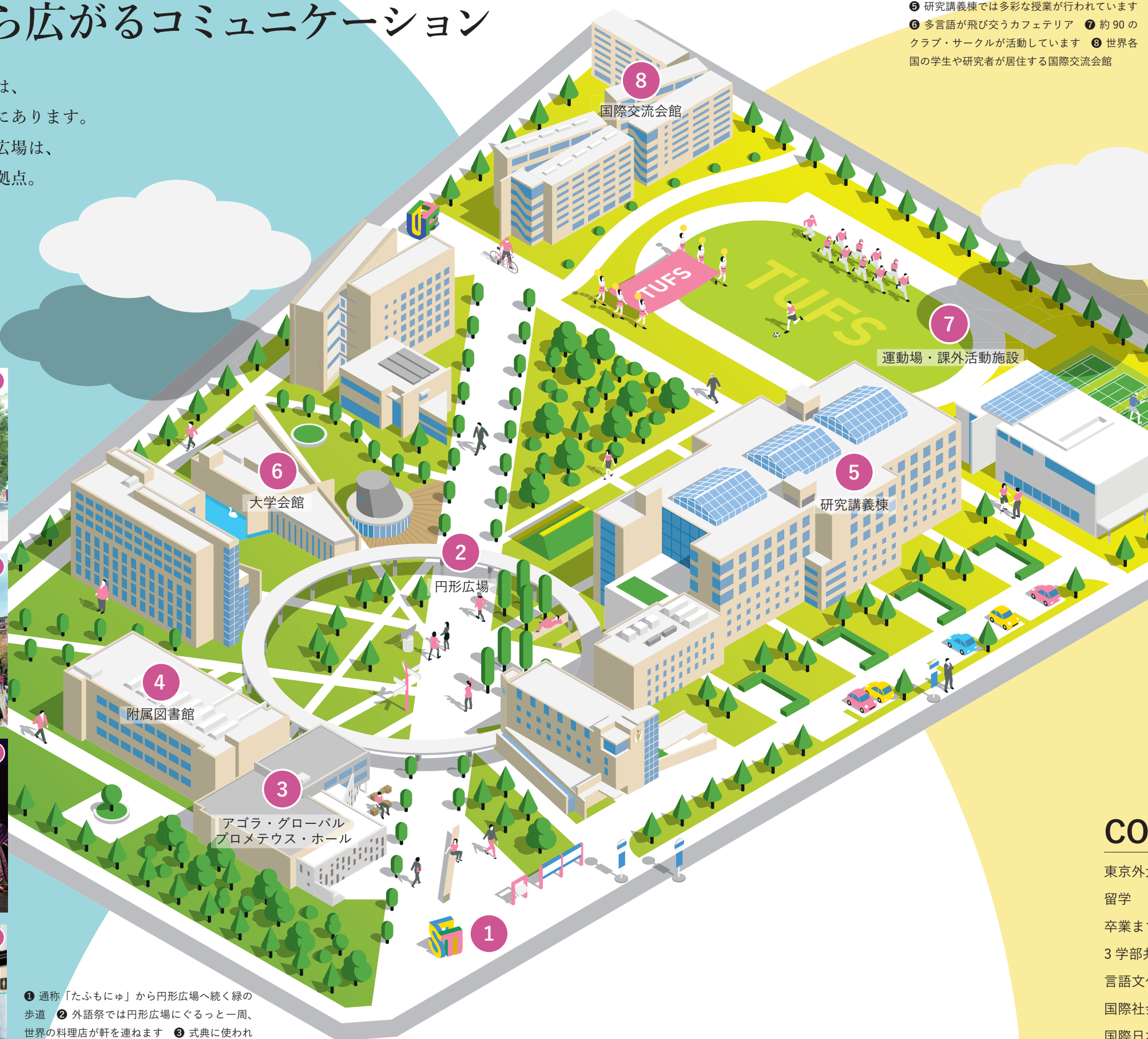
東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

学部入学案内 2022

円形広場から広がるコミュニケーション

東京外国語大学のキャンパスは、
東京都の西部、緑豊かな地域にあります。
キャンパスの中央にある円形広場は、
主な建物をつなぐ活動の中継拠点。
ここで多文化交流が生まれ、
キャンパスに、
そして世界へ広がります。



① 通称「たふもにゅ」から円形広場へ続く緑の歩道 ② 外語祭では円形広場にぐるっと一周、世界の料理店が軒を連ねます ③ 式典に使われるプロメテウス・ホールで日常の言語学習の成果「語劇」を発表します ④ 附属図書館は世界各国から収集された蔵書の宝庫

⑤ 研究講義棟では多彩な授業が行われています ⑥ 多言語が飛び交うカフェテリア ⑦ 約90のクラブ・サークルが活動しています ⑧ 世界各国の学生や研究者が居住する国際交流会館



CONTENTS

東京外大で学べる世界 15 地域 27 言語	04
留学	06
卒業までに身につく5つの力	08
3学部共通の世界教養プログラム	09
言語文化学部	10
国際社会学部	14
国際日本学部	18
就職支援	22
入試情報	23

東京外大で学べる 世界 15 地域 27 言語

全世界をカバーする 15 地域 27 言語の教育体制を備え、
言語のみならず、各地域の文化や社会についても学びます。
学びの場は世界にも広がります。

交換留学が可能な海外の大学

◎は国際日本学部ダブル・ディグリープログラム連携大学
※は短期海外留学のみ（2021.1.1 現在）

■ヨーロッパ

アイルランド
アイルランド国立大学コーク校
英国
ロンドン大学東洋・アフリカ研究院
リーズ大学
マンチェスター大学
エセックス大学
セントラル・ランカシャー大学 ◎
イタリア
ナポリ東洋大学
ヴェネツィア大学
トリノ大学

ローマ大学「ラ・サピエンツァ」
トレント大学
ボローニャ大学
ペルージャ外国人大学
パヴィア大学(コッレージョ・ギスリエリ)
オーストリア
ウィーン大学
オランダ
ライデン大学
スイス
ジュネーヴ大学
チューリヒ大学
スペイン
セビリア大学
ボンベウ・ファブラ大学
マドリッド自治大学
サラマンカ大学
アルカラ大学
バルセロナ自治大学
バスク大学

スロバキア
コメンスキー大学
スロベニア
リュブリャナ大学
セルビア
ベオグラード大学
チェコ
カレル大学
マサリク大学
パラツキー大学
ドイツ
ギーゼン大学
ビーレフェルト大学
ゲッティンゲン大学
エアランゲン・ニュルンベルグ大学
マールブルク大学
ハンブルク大学アジアアフリカ研究所
ミュンヘン大学ドイツ語講座 ※
ベルリン自由大学
シュヴェービッシュ・グミュント教育大学

トリアー大学
ノルウェー
トロムソ大学・ノルウェー北極大学
ブルガリア
ソフィア大学
フィンランド
オウル大学
フランス
新ソルボンヌ大学
パリ政治学院
フランス国立東洋言語文化大学
ボルドー政治学院
リール大学
パリ大学
グルノーブル・アルプ大学
エクス・マルセイユ大学
ボルドー・モンテーニュ大学
パリ・ナンテール大学
ベルギー
リエージュ大学

ポーランド
ヤゲロン大学
アダム・ミツキエヴィチ大学
ポルトガル
コインブラ大学
リスボン大学
ポルト大学
ミーニョ大学
リトアニア
ヴィータウタス・マグナス大学
ロシア
ロシア国立人文大学
モスクワ国立大学
サンクト・ペテルブルク国立大学
モスクワ国立国際関係大学
極東連邦大学
国立研究大学高等経済学院
ブリヤート国立大学
カザフスタン
カザフ国立大学

学 べ る 言 語 学 べ る 地 域

- 言語文化学部、国際社会学部で専攻する言語・地域
- 国際社会学部のみ
- 国際日本学部のみ

中央ヨーロッパ地域
ドイツ語／ポーランド語／チェコ語

西南ヨーロッパ地域
フランス語／イタリア語

北西ヨーロッパ地域
英語

イベリア地域
スペイン語
ポルトガル語

中東地域
アラビア語／ペルシア語
トルコ語

アフリカ地域

中央アジア地域
ロシア語およびウズベク語
モンゴル語

ロシア地域
ロシア語

東アジア地域
中国語／朝鮮語

国際日本学部 日本

東南アジア地域
インドネシア語／マレーシア語
フィリピン語／タイ語／ラオス語
ベトナム語／カンボジア語／ビルマ語

オセアニア地域

北アメリカ地域
英語

ラテンアメリカ地域
スペイン語
ポルトガル語

留学先は、学部や専攻言語・
地域によらず、自由に選択
できます。

ウクライナ
イヴァン・フランク記念リヴィウ国立大学
ウズベキスタン
タシュケント国立東洋学大学
タジキスタン
タジク国立言語大学
トルクメニスタン
国際人文開発大学

■**アフリカ**
エジプト
カイロ大学
アイン・シャムス大学
アレキサンドリア大学
ガーナ
ガーナ大学
カメルーン
チャン大学
ザンビア
ザンビア大学

ジンバブエ
ジンバブウェ大学
南アフリカ
プレトリア大学
モザンビーク
エドゥアルド・モンドラーネ大学
モロッコ
ムハンマド5世大学
ルワンダ
プロテスタント人文・社会科学大学

■**中東**
イラン
アッラーメ・タバーターバーイ大学
イスラーム自由大学シーラーズ分校
イスファハン大学
シリア
ダマスカス大学
トルコ
アンカラ大学

ボアジチ大学
マルマラ大学
ヨルダン
アリー・ハバーバー・インターナショナル・センター※
■**オセアニア**
オーストラリア
オーストラリア国立大学
メルボルン大学
ボンド大学
ニュージーランド
オークランド大学
ヴィクトリア大学ウェリントン

■**アジア**
インド
デリー大学
ジャドププル大学
ザパン・ランゲージ・インスティテュート※
ジャワ・ハルラル・ネルー大学

モウラーナ・アーザード国立ウルドゥー大学
インドネシア
ガジャマダ大学
インドネシア大学
韓国
延世大学
ソウル大学
韓国外国語大学
淑明女子大学
韓信大学
聖公会大学
慶熙大学
梨花女子大学
東国大学
カンボジア
王立プノンペン大学
シンガポール
シンガポール国立大学人文社会科学部
タイ
シーナカリンウィロート大学

タマサート大学
チュラロンコーン大学
チェンマイ大学
マヒドン大学アジア言語文化研究所
台湾
国立政治大学
国立台湾大学
淡江大学
国立台湾師範大学
開南大学
国立清華大学
中国
上海外国語大学
北京語言大学
厦門大学
内モンゴル大学
ホーチミン国家大学人文・社会科学大学
ハノイ国家大学外国語大学
マレーシア
マレーシア国民大学

寧波大学
西安外国語大学
香港中文大学
香港大学
パキスタン
バンジャブ大学オリエンタルカレッジ
バングラデシュ
ダッカ大学
フィリピン
フィリピン国立大学
アテネオ・デ・マニラ大学
デラサール大学
ブルネイ
ブルネイ・ダルサラーム大学
ベトナム
ハノイ国家大学人文・社会科学大学
ホーチミン国家大学人文・社会科学大学
ハノイ国家大学外国語大学
マレーシア
マレーシア国民大学

ミャンマー
ヤンゴン大学
モンゴル
モンゴル国立大学
ホブド大学
ラオス
ラオス国立大学
■**北米**
カナダ
ブリティッシュ・コロンビア大学
レジャイナ大学
米国
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ※
ニューヨーク州立大学オルバニー校
サンディエゴ州立大学
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校
ネブラスカ大学カーニー校
ハワイ大学マノア校
テキサス大学オースティン校

ジョージ・メイソン大学
カリフォルニア大学リバーサイド校 ※
カリフォルニア州立大学ノースリッジ校
サンフランシスコ州立大学
■**中南米**
アルゼンチン
国立ラプラタ大学
キューバ
ハバナ大学
コロンビア
レジャイナ大学
ブラジル
リオ・デ・ジャネイロ州立大学
パラナ連邦大学
カンピナス州立大学
バイア連邦大学
メキシコ
メキシコ国立自治大学
グアナフアト大学

東京外大から世界へ 世界に広がる学びの舞台



留学支援を
Web サイトでチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/studyabroad/>

「世界」を学ぶ東京外国語大学の学生にとって、留学は最大の関心事項。

留学先の大学で現地の学生とともに学ぶスタイルが多いのが、
東京外国語大学の留学の特徴です。

留学生数

東京外国語大学を卒業する日本人学生のうち約8割が、在学中に留学を経験します。これは、本学が**世界 65 カ国・地域にある 174 の大学と学生交流のための協定**を結び、交換留学プログラムを実現しているからです。夏学期や冬学期には本学協定校が行うサマースクール、スプリングスクールに参加し、短期海外留学に行く学生も多くいます。

短期海外留学

689 名

夏学期や冬学期には本学協定校が行うサマースクール、スプリングスクールに参加するショートビジットプログラムのほか、多様なスタディツアーが開講されています。1 年次で半数以上が短期海外留学を経験します。

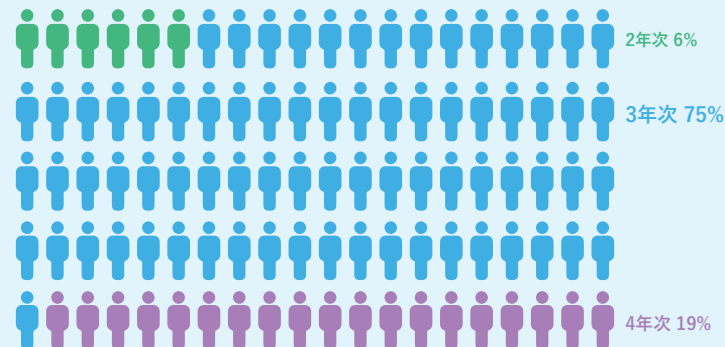


長期海外留学

協定校に派遣される交換留学生のうち、成績係数(GPA)などの条件を満たす場合は、日本学生支援機構(JASSO)からの奨学金(給付型)の支給を受けることができます。(採用人数には上限があります。)
【2019年度支給実績】 月額6万～10万円 2019年度出発者263名のうち、185名に支給

834 名*

*2019年度中に留学を経験した人数(前年度以前の出発者含む)
協定校との学生交換の枠組みで派遣される交換留学、単位認定申請をした上で休学して留学する休学留学などのほか、海外の企業等での長期インターンシップに参加する学生もいます。3 年次で約6割が長期留学を経験しています。



交換留学 国・地域別人数 [2019年度出発] (括弧内は人数): ドイツ(21)、ロシア(18)、韓国(16)、フランス(15)、スペイン(15)、イタリア(14)、イギリス(11)、アメリカ(11)、中国(11)、ブラジル(9)、ポルトガル(8)、インド(7)、台湾(7)、タイ(7)、アイルランド(6)、チェコ(6)、カナダ(6)、トルコ(6)、スイス(5)、コロンビア(5)、メキシコ(5)、ポーランド(4)、ミャンマー(4)、エジプト(4)、ウズベキスタン(3)、カザフスタン(3)、アルゼンチン(3)、オランダ(2)、スロベニア(2)、フィンランド(2)、ベルギー(2)、オーストラリア(2)、ニュージーランド(2)、インドネシア(2)、シンガポール(2)、ベトナム(2)、モロッコ(2)、ルワンダ(2)、オーストリア(1)、ノルウェー(1)、トルクメニスタン(1)、リトアニア(1)、モンゴル(1)、フィリピン(1)、ブルネイ(1)、マレーシア(1)、ラオス(1)、ザンビア(1)、南アフリカ(1)



留学体験記

From TUFS to the world —— 実体験に勝るものなし



TUFS 留学支援キャラクター「トビタくん」

長期海外留学

佐野 遥 さん

言語文化学部
英語/北アメリカ地域

マンチェスター大学
(イギリス)



マンチェスター大学は4万人近くの学生を有し、総学生数約4千人の東京外大とはスケールが全く違います。大規模な大学と小規模でアットホームな大学、どちらも異なる良さがあるため、交換留学は両方を体験できる素晴らしい制度だと感じます。

留学は未知のことばかりで、行く前には不安になるかもしれません。Comfort zone (慣れ親しんだ居心地の良い場所) から飛び出すのは勇気の要ることですが、怖がらずに挑戦してみてください! 新しい世界が待っています。そして留学で得た広い視野や語学力は、きっと人生の宝物になるはずです。

短期海外留学

上村 理緒 さん

言語文化学部
マレーシア語 / 東南アジア地域

ブルネイ・ダルサラーム大学
(ブルネイ)



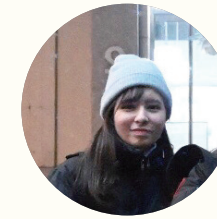
私はブルネイ・ダルサラーム大学の「Discovery Brunei Course」というプログラムに参加しました。授業では、ブルネイの歴史や、イスラム教、イスラム教で用いられているアラビア文字が起源のジャウィ文字などを学びました。授業の他にも課外アクティビティが充実していて、水上集落に訪れたり、伝統音楽やダンスを見たり体験したりさまざまな活動をしました。1ヶ月の滞在でしたが、ブルネイ・ダルサラーム大学に在籍するパディ学生やさまざまな国からの参加者と仲良くなれたことは大切な思い出です。そして英語とマレー語を存分に使って、会話実践ができたことは良い経験となりました。

スタディツアー

佐藤 さくら さん

国際社会学部
ロシア地域 / ロシア語

国連スタディツアー
(米国)



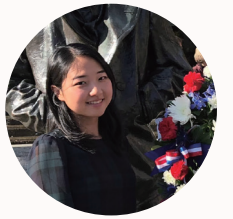
専攻しているロシア語が国連公用語であることや、「国連って実際どんな風に動いているんだろう」ということに興味があり参加しました。国連研修の理解を深めるためのキャンパスでの事前学習を経て、ニューヨークの国連本部で行われる国連職員の3日間の講義等に参加するプログラムです。3日間の講義は、国連本部にて、政務・PKO、軍縮・持続可能な開発・経済、社会問題・開発協力・子ども、女性・人口統計・国際公務員、国連で働くことなどについて1時間ごとにさまざまな部署の職員により英語で講義が行われました。職員の方に直接聞いてお話ししたのがとても貴重な経験となりました。

長期インターンシップ

北村 青夏 さん

国際社会学部
中央ヨーロッパ地域 / ドイツ語

マーク・タカノ下院議員
事務所 (米国)



外務省が主催している「日本人学生等のインターンシップ支援事業」の5期生としてワシントンDCで半年間インターンシップを行いました。授業やゼミで政治学を学んでいくうちに政治が動く現場を実際に見てみたいと思ったのがきっかけでした。現地ではインターンの他にも旅行に行ったり各国の大使館のパーティーに参加したり国際機関に勤めていらっしゃる方々とお会いすることができ、忘れられない経験となりました。留学という未知の世界に飛び込むのは怖そうに思えるかもしれませんが、でも言い換えればそこは自分次第でどんな世界が広がるかを決められる場所なんです! 自分の頑張りや実を結んだと実感した時に感じる胸の高鳴りは何ものにも代え難いです。

留学体験記を Web で配信中! <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/studyabroad/experience/>



卒業までに身につく

5つの力

東京外国語大学は、高度な言語運用能力と地球社会化時代を生きるために必要な基礎的教養、専門知識を身につけ、国内外における言語間・文化間の架け橋となり、新たな価値観の創成に寄与する人材を育成します。

3つの学部

東京外国語大学には、言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部、の3つの学部があります。



言語文化学部

言語文化学科

多様な言語と文化を深く学び、世界の架け橋となる

- ▶ 地域コース
- ▶ 超域コース

国際社会学部

国際社会学科

グローバルな視点で問題を考え、解決できる実践的な能力を備える

- ▶ 地域社会研究コース
- ▶ 現代世界論コース
- ▶ 国際関係コース

国際日本学部

国際日本学科

分野は日本そのもの。多角的な視点で日本を捉え直す

- ▶ 日本社会分野
- ▶ 日本文学・文化分野
- ▶ 日本語学分野
- ▶ 日本語教育分野

3学部共通の教養プログラム

世界教養プログラム



世界教養プログラムを Web でチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/glap.html>

どの学部に入學しても、まずは「世界教養プログラム」の科目を履修することになります。プログラムには文科系だけではなく、理科系の科目も用意されており、国際社会で活躍するために欠かせない知性と教養を身につけていきます。

言語力を身につける

言語を習得することを目的に、「専攻言語科目」、「教養外国語科目」、「GLIP 英語科目」、「諸地域言語科目」の4種類の授業科目群を用意しています。入学時に選択した各地域の専攻言語に加えて、各自の興味や関心、あるいは必要に応じて、英語科目や複数の言語を組み合わせる履修します。

地域の理解を深める

それぞれが専攻する地域についての理解を深めるために地域科目群を用意しています。各地域の文化・社会について、さまざまな観点から総合的に理解することを目的としています。

大学で学ぶための技術を修得する

本学学生として必要な知識とものの考え方、そして技能を身につけるため、また、大学で学ぶための基礎的な技能や論理的思考方法を修得するため、「基礎リテラシー」や「基礎演習」などの授業を受講します。

幅広い教養を身につける

現代社会で必要とされる基礎的な知識と技能、そして幅広い教養を身につけるため、「現代教養科目」、「自然科学系科目」、「教養日本力科目」、「スポーツ身体科目」、「世界言語科目」、「キャリア・協働科目」、「臨地学修科目」の7種類の授業科目群を用意しています。

《教養を身につける科目》

市民社会と協働／国際社会と地域／多文化社会／キャリアのための経営学／教養としての言語学／教養としての統計学／歴史学(日本史、世界史)／哲学／憲法／こころの科学／文化と芸術／情報技法／健康と医療／環境と科学／日本語を教える／日本の現在を知る／日本の言語を知る／日本の文学と文化を知る／歴史の中の日本を知る／キャリアデザイン論／就業体験／社会協働／短期海外留学／スタディツアー／AI・データサイエンス／ほか

TOPIC

英語を学ぶ

グローバル化が進む現代の国際社会で英語は不可欠。どの学部・専攻に所属しても、「GLIP 英語科目」などを通じて、英語をしっかりと学ぶことができます。英語学習支援センターを設置し、英語学習の総合的なサポートを行なっています。



pick up! 授業

〔社会協働〕山形スタディツアー

インバウンド推進・地域活性化のためのスタディツアー

担当教員：吉田ゆり子、篠原琢、小田原琳、上原こずえ、古川高子

少子高齢化、都市への集中、地方の過疎化など、日本社会の現状と問題点を、留学生と日本人学生が山形県の一市四町に滞在して具体的に学び、観光資源の発掘・商品開発、地域の産業の活性化のための海外輸出の推進など、地元自治体・観光協会、地域住民との交流・意見交換をとおして考え、地域社会の持続可能性を探ります。



TOPIC

大学院 先取り履修制度

東京外国語大学では、大学院への進学を予定する学生が本学大学院博士前期課程の授業科目を先取り履修できる制度を設けています。学部卒業前に大学院科目を履修することで、問題意識を高め、研究テーマを絞り込み、大学院で修士論文に向けた研究により多くの時間をあてることができます。大学院には在学期間短縮制度があり、1年間で残りの単位を修得し、修士論文または修了研究を提出し修士の学位を取得することが可能です。

多様な言語と文化を深く学び、世界の架け橋となる

言語文化学部



言語文化学部を Web でチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/gengobunka.html>

→ 言語文化学部の学び

高度にグローバル化と情報化が進んだ現代においては、異なる言語や文化がますます身近なものとなっています。人々が理解しあひながら生きていくためには、多様な言語と文化について学び、コミュニケーション力を高めることが大事です。この考えに立ち、言語文化学部では、世界のさまざまな地域の言語や文化の学習に重点を置いた教育を行っています。言語と文化というプリズムを通して人間と世界を学ぶのが言語文化学部といってもいいでしょう。

言語文化学部では、4年間を通じて、入学時に選択した言語や英語、そのほかの外国語を多様に組み合わせ、高いレベルで習得します。3年次からは「超域コース」か「地域コース」のいずれかのコースに属し、専攻の地域について、あるいは特定の学問分野を通して、人間の営みを分析する手法を学んでいきます。

世界は、グローバル化による画一化・均質化が進む一方で、ローカルな言語や文化を大切にすることが活発化し、世界各地で文化摩擦や宗教対立など言語や文化をめぐるさまざまな課題が生じています。また複数の言語や文化が併存する多言語・多文化社会が広がっています。複雑な現代にあっては、多様な関係性を読み解くことのできる洞察力、理解力、既成の概念に囚われない柔軟な発想が求められています。言語文化学部は、こうした力を備え、文化の媒介者として活躍する国際教養人の養成を目指します。

→ 学びの特徴

1. 世界のさまざまな地域の言語や文化を深く学びます。
2. 専攻言語や英語の高度な運用能力を身につけます。その他の外国語も多様に組み合わせつつ、高いレベルで言語を習得します。
3. 言語研究・文化研究を中心とした人文学的思考を養成します。

→ コース

3年次からはいずれかのコースに属し、専攻の地域、あるいは特定の学問分野を通して、人間の営みを分析する手法を学んでいきます。

- ・ 地域コース
- ・ 超域コース

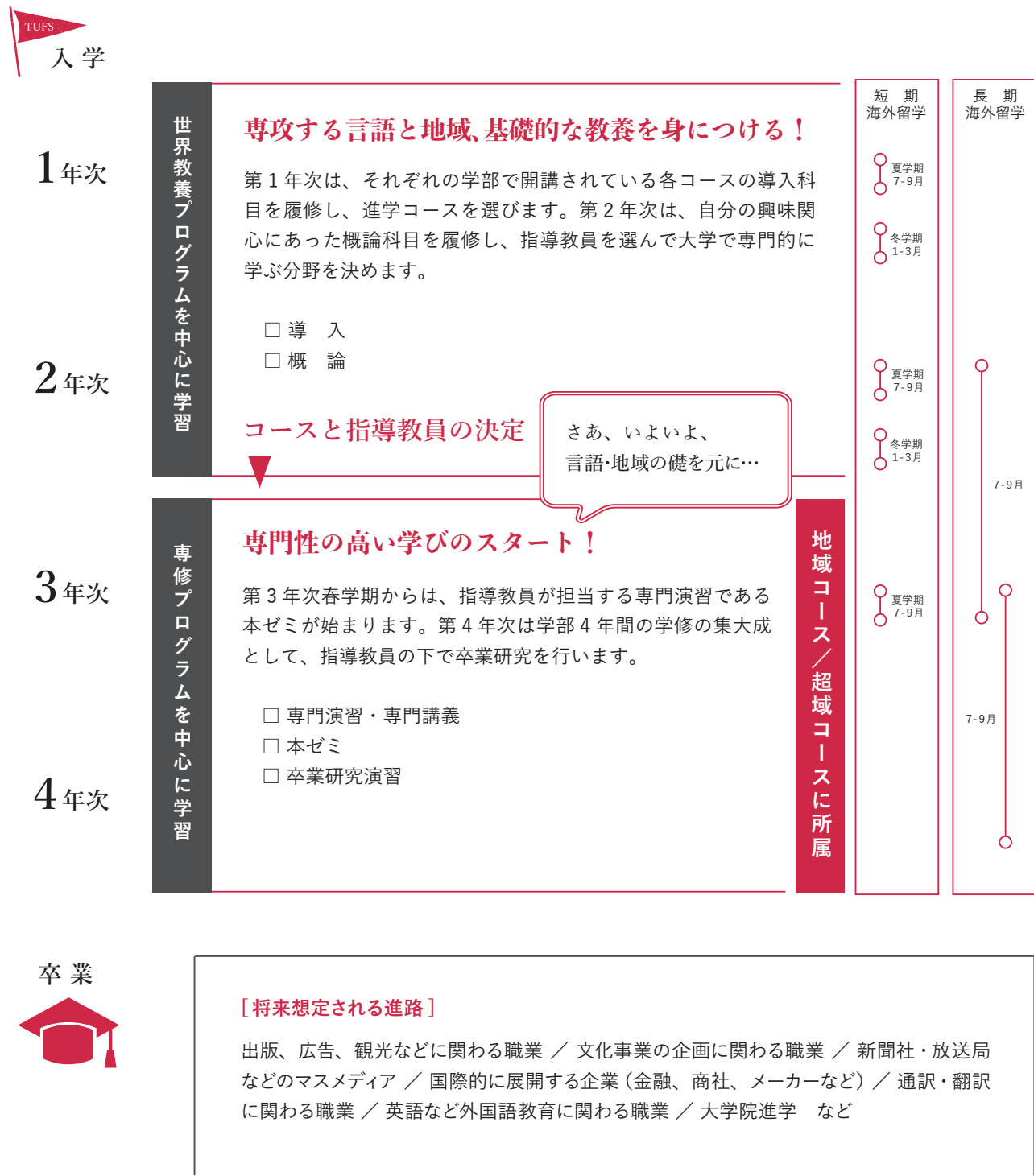
→ 養成される人材像

世界のことばや文化、とくに専攻地域のことばや文化に精通し、優れた職業的能力を備えた国際教養人を育成します。高いコミュニケーション能力とコーディネーション能力を備え、国内外で言語間・文化間の架け橋となって新たな価値を生み出す人材を養成します。



➔ 4年間の学び

言語文化学部に入学者は、第1・2年次ではおもに「世界教養プログラム」と呼ばれる3学部共通のカリキュラムで、専攻言語やその他の言語、専攻地域に関わる基礎的内容や教養科目などを学びます。第1・2年次では併せて専門分野の基礎（導入科目・概論科目）も学び、第3年次には2つのコース（地域コース／超域コース）のいずれかに所属して、専門的・学術的学びが本格的に始まります。第4年次は学部4年間の集大成として、指導教員の下で卒業研究を行います。



➔ 専門性の高い学び

第3年次春学期からは、指導教員が担当する専門演習である本ゼミが始まります。第4年次は学部4年間の学修の集大成として、指導教員の下で卒業研究を行います。

pick up! 授業 20世紀前半のイタリア芸術文化
〔ヨーロッパ文化研究〕 担当教員：小久保 真理江

20世紀前半のイタリアの芸術文化について、文学・美術・映画・音楽など、様々な分野の作品や文化事象を学び、領域横断的な理解を深めていきます。講義の内容を理解するだけでなく、講義で扱われるトピックや作品について主体的に考え、問いを立て、自らの意見や解釈を述べる力を身につけていきます。



● **地域コース** ～多様な文化と言葉を学ぶ～
世界の10の地域（北西ヨーロッパ・北アメリカ、中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、イベリア・ラテンアメリカ、ロシア、中央アジア、東アジア、東南アジア、南アジア、中東）について、言語学、文学、思想、宗教、表象文化論などの学問分野を横断し、複数の視点から学びます。特定の分野にフォーカスするとともに、地域に共存する多様な言語、文学、文化を広く学び、その地域に対する深い知見を蓄えることによって、異なる文化を理解し、新しい可能性を開拓する力を磨きます。
導入科目 言語研究入門／文化研究入門
概論科目 言語学概論／音声学概論／言語教育学概論／多言語・多文化社会論／概論文化・文学概論／思想文化概論／英語概論／英語文学概論／ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論／ヨーロッパ・アメリカ文化概論／アジア・アフリカ言語研究概論／アジア文化概論
専門科目 世界各地域の文化研究／言語研究 など

pick up! 授業 宗教学演習
〔思想文化研究〕 担当教員：丸山 空大

宗教を研究の対象とする場合、独特の難しさが付きまといます。というのも、宗教を学問的に理解しようとする試みには、常に「信じていない人には宗教はわからない」という批判が突きつけられるからです。このゼミでは、宗教学の重要文献を講読し議論することを通して、宗教という現象の複雑さや、他者が信じる宗教を理解することの難しさを知るとともに、そうした対象にアプローチするための方法論を学びます。



● **超域コース** ～言語・文化の違いを超えて、専門知識を学ぶ～
言語学・言語情報処理学（言語学、音声学、コーパス言語学など）、言語教育学（英語教育学など）、通訳・翻訳（通訳・翻訳論、コミュニケーション論など）、文学・文化理論（文学、思想、文化人類学、宗教学など）、人間科学（心理学、スポーツ科学など）の5つの学問分野のなかから一つを選び、地域を超えた言語研究・文化研究を行います。専攻する言語と地域をつねに視野に入れながら一つの学問分野を専門的に学ぶことで、世界のさまざまな地域の現実に根ざした、豊かな教養を身につけます。
導入科目 言語研究入門／文化研究入門
概論科目 言語学概論／音声学概論／言語教育学概論／思想文化概論／多言語・多文化社会論／概論文化・文学概論／言語処理論／英語教育学概論／通訳概論／人間科学概論
専門科目 言語学／音声学／言語処理論／統計科学／英語教育学研究／コミュニケーション論／通訳・翻訳論／実践英語／コミュニティ通訳研究／文化・文学研究／思想文化研究／人間科学研究／言語教育学研究 など

グローバルな視点で問題を考え、解決できる実践的な能力を備える

国際社会学部



国際社会学部を Web でチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/kokusaishakai.html>

→ 国際社会学部の学び

グローバル化の進展により経済格差や環境問題等、地球規模での課題が深刻化する一方で、世界各地で市民を巻き込んだテロや戦闘の危機が身近な問題となっています。

こうした世界の現状を正しく把握・分析し、問題の所在をつかみ、日本をはじめとする国際社会がどのように問題解決に関わり、いかにして異なる宗教・民族・文化に対して公平性を確保するか、国際社会学部では具体的な地域の問題を取り上げ、国際的な視座から考える方法を学んでいきます。

→ 学びの特長

1. 世界諸地域の政治・経済・社会と歴史的背景に関する専門知識を深めます。
2. 紛争・災害・環境問題・貧困・難民・ジェンダー不平等やマイノリティへの差別等、現代世界が直面する諸問題を社会科学的手法で分析し、問題の本質を洞察し、問題解決に資する能力を養います。
3. 現地社会と協働し問題解決にあたる姿勢を育成します。

→ コース

2年次後半からは、世界教養プログラムによる学習を進めつつ学部のコースに進学し、専修科目としておかれている専門教育を受けることになります。

- ・ 地域社会研究コース
- ・ 現代世界論コース
- ・ 国際関係コース

→ 養成される人材像

1. 世界のさまざまな地域の歴史的経緯や複雑な現状を理解し、分析するリサーチ能力と、グローバルな視点から問題を解決する実践的な能力を備えた人材を養成します。
2. 諸地域の歴史・社会・政治・経済等の知識と専門性を活かして、国内外で活躍できる人材を養成します。



→ 4年間の学び

入学後、最初は「世界教養プログラム」と呼ばれる3学部共通のカリキュラムで、入学時に選択した地域とその地域言語に関わる基礎的な内容や教養科目を学びます。その後、2年次後半からは、世界教養プログラムによる学習を進めつつ学部のコースに進学し、専修科目としておかれている専門教育を受けることになります。「地域社会研究コース」の授業はおもに地域別の構成、「現代世界論コース」はジェンダー論などの課題別の授業と学問分野別の授業による構成、「国際関係コース」はおもに社会科学の学問分野別の授業編成になっています。



入学

1年次

世界教養プログラムを中心に学習

専攻する言語と地域、基礎的な教養を身につける！

第1年次は、それぞれの学部で開講されている各コースの導入科目を履修し、進学コースを選びます。第2年次は、自分の興味関心にあった概論科目を履修し、指導教員を選んで大学で専門的に学ぶ分野を決めます。

- ☐ 導入
- ☐ 概論

コースと指導教員の決定

さあ、いよいよ、言語・地域の礎を元に…

専門性の高い学びのスタート！

地域社会研究コース／現代世界論コース／国際関係コースに所属

2年次

3年次

専修プログラムを中心に学習

第3年次春学期からは、指導教員が担当する専門演習である本ゼミが始まります。第4年次は学部4年間の学修の集大成として、指導教員の下で卒業研究を行います。

- ☐ 専門演習・専門講義
- ☐ 本ゼミ
- ☐ 卒業研究演習

4年次

卒業



【将来想定される進路】

外交官などの国家公務員や地方公務員／国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど）／国際機関や国際的に活動するNGO／新聞社・放送局などのマスメディア／社会科・地理歴史科の中学・高校教員／大学院進学 など

短期海外留学

夏学期 7-9月

冬学期 1-3月

夏学期 7-9月

冬学期 1-3月

夏学期 7-9月

長期海外留学

7-9月

7-9月

→ 専門性の高い学び

第2年次秋学期から専門講義を受け、第3年次春学期から指導教員が担当する専門演習である本ゼミが始まります。第4年次は学部の学修の集大成として、指導教員の下で卒業研究を行います。

pick up! 授業

先住民(族)からみる

【オセアニア地域研究】 担当教員：山内 由理子



近代国民国家を基本とする現代社会システムは植民地化のプロセスの上に成り立っていますが、「先住民(族)」というカテゴリーも、そこにおいて形成されました。本授業においては彼らに関する議論や研究を見てゆくことを通じて、「国民国家」「人権」「所有権」「環境」「文化」などの事象を批判的に検討する視点を養うことを目標とします。

● 地域社会研究コース ～特定の地域に焦点を当て社会の構造を解き明かす～

世界のさまざまな地域に住む人たちの世界を具体的な事例に即して考察し、「歴史的なものの見方」と「現代社会を構造的に捉える視角」を学びとることのできる人材を育成することを目指しています。

導入科目 地域社会研究入門／歴史社会研究入門

概論科目 地域社会研究概論／歴史社会研究概論

専門科目 北西ヨーロッパ地域研究／中央ヨーロッパ地域研究／西南ヨーロッパ地域研究／イベリア地域研究／北アメリカ地域研究／ラテンアメリカ地域研究／ロシア地域研究／中央アジア地域研究／東アジア地域研究／東南アジア地域研究／南アジア地域研究／中東地域研究／アフリカ地域研究／オセアニア地域研究

pick up! 授業

戦争とジェンダー・セクシュアリティ

【ジェンダー論】 担当教員：金 富子



ジェンダー、セクシュアリティとの関係に注目しながら、戦時・武力紛争下あるいは植民地・占領地で性暴力がどのように展開したのか、それらが戦後にどう裁かれ／裁かれなかったのかを、過去と現在の状況等に関して、事例ごとに考察します。

● 現代世界論コース ～現代世界の諸問題に新たな解決策を導き出す～

複雑な様相を呈している現代世界、そこに生じる多様な問題群を自ら発見し、柔軟で批判的な思考によって問題の本質をとらえ、深く幅広い専門知識や技術を結集して、粘り強く問題解決のために行動することのできる人材を育成することを目指しています。

導入科目 世界認識論入門／政治社会論入門／社会関係論入門

概論科目 世界認識論概論／政治社会論概論／社会関係論概論

専門科目 ジェンダー論／社会学／哲学・社会思想／政治理論／グローバル・スタディーズ／現代社会史論／教育社会学

pick up! 授業

紛争解決論

【平和・紛争論】 担当教員：篠田 英朗



国際協力の観点から、紛争解決の考え方を理解する視点を養います。様々な事例を参照しながら、国際社会の紛争解決努力の姿勢や仕組みを理解してもらうことを目標としています。

● 国際関係コース ～国際社会の現実を理論・歴史・実証的に理解～

領土紛争、宗教や資源をめぐる摩擦、そして貧困や差別、国際テロの脅威などの国際社会の現実を、様々な角度から社会科学的手法をもちいて理論的・歴史的・実証的立場から理解し、政策志向的に考えていくことのできる人材を育成することを目指しています。

導入科目 政治学入門／法学入門／経済学入門／経営学入門

概論科目 国際政治概論／国際法概論／国際経済概論／経営学概論

専門科目 国際政治学論／比較政治学／国際法／国際機構論／公法／私法／経済学／国際経済学／開発経済学／平和・紛争論／経営学／国際協力論／国際教育論

国際的な視野から日本を総合的に学び、世界に向けて日本を発信する

国際日本学部



国際日本学部を Web でチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/sjs.html>

→ 国際日本学部の学び

国際日本学部は、世界の中の日本を学び、日本の、その先を考える場所です。留学生と共に学ぶため、教室がすでに小さな国際社会。

学ぶ言語（共通言語）は、英語と日本語です。それぞれの運用能力を高めながら、日本を総合的に学びます。入学直後に受ける授業の多くは、プロジェクト主体のアクティブ・ラーニング。研究フィールドは、日本のすべて。多彩で刺激的な授業から、「自分が追求したい日本」のテーマを学びましょう。

英語圏を中心に、世界各地への留学のチャンスも豊富です。充実した短期留学プログラムや長期留学プログラムにより、学びの場は海外にもつながります。

→ 学びの特徴

1. 日本そのものをフィールドとして分野を超え、多角的な視点で日本を捉え直します。私たちが暮らす日本という国を、世界の中に位置付けて学ぶのが国際日本学部です。具体的には、日本の政治・経済・社会・歴史、日本の文学・文化、日本語を学びます。また、世界で日本語を教えるための知識も身に付けることができます。
2. 日本語と英語をコミュニケーションツールとして用い、日本人学生と留学生と一緒に学びます。
 国際日本学部は、英語でも日本語でも、きちんとしたコミュニケーションがとれるようになることを目標としています。英語で行われる授業も多くありますが、日本語の書く、読む、話す力を高めるプログラムも用意されています。
3. 自律性を涵養し、多様な人々との協働による課題解決型のアクティブ・ラーニングに取り組みます。1年次の「多文化コラボレーション」をはじめ、多くの授業で、問題を発見し、解決の方策を話し合い、そして解決のために行動する活動を行います。

→ 養成される人材像

国際的な視野から日本を総合的に学び、世界に向けて日本を発信する力や、多文化化する日本の問題解決に資する知識や協働力を備えた人材を養成します。



→ 4年間の学び

入学後は、最初は「世界教養プログラム」とよばれる3学部共通の教養科目の幅広い選択肢のなかから、興味のあるトピックスを選んで学習します。また、言語科目で英語力を向上させます。一方で、国際日本学部の必修科目「多文化コラボレーション」「地域社会フィールドワーク」「社会発信型プロジェクトワーク」「教育支援フィールドワーク」を通じて協働する手法を学びます。3年次は、専門科目では講義・演習が始まり、研究技法を身につけていきます。また、全学年を通して多くの学生が留学を経験します。

TUFS

入学

1年次

世界教養プログラムを中心に学習

専攻する言語と地域、基礎的な教養を身につける！

1年次は、全員が履修する「多文化コラボレーション」で、協働する手法を学びます。導入科目で多面的に日本を学ぶと同時に、言語科目で日本人学生は英語力、留学生は日本語力を向上させます。2年次には、「社会発信型プロジェクトワーク」などで協働活動を進めます。概論科目で日本についての知識を深めつつ、引き続き英語力・日本語力も磨きます。

☐ 導入

☐ 概論

☐ 多文化協働科目

☐ 社会連携科目

2年次

世界教養プログラムを中心に学習

専門性の高い学びのスタート！

専門科目の講義・演習が始まり、二つ以上の分野の演習に参加。研究技法を身に付けます。4年次には、指導教員のもと卒業研究を行います。

☐ 専門演習・専門講義

☐ 卒業研究演習

▼ 指導教員の決定

3年次

専修プログラムを中心に学習

卒業

卒業

世界展開する日本企業 / 新聞社・放送局などのマスメディア / 観光・運輸業 / 国際機関 / 官公庁 / 通訳や翻訳の仕事 / 日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関 / 中学・高校の国語教師 / 大学院進学 など

短期海外留学

夏学期 7-9月

冬学期 1-3月

夏学期 7-9月

冬学期 1-3月

夏学期 7-9月

冬学期 1-3月

長期海外留学

7-9月

7-9月

→ 多様な人々と協働する手法を学ぶ

国際日本学部では、課題解決型の授業に取り組むことで、異なる背景を持った人々と議論しながら共通の課題に取り組む姿勢を養います。日本をフィールドとして、社会、文学・文化、言語、言語教育などの多様な観点から日本の文化や歴史を捉えなおし、客観的な根拠に基づく確かな知識を改めて積み上げます。

pick up! 授業

多文化コラボレーション

日本人学生と留学生が協働で調査などを行い、成果を発信する授業です。バックグラウンドが異なる多文化チームが自分たちで設定したテーマに沿って、英語と日本語を交えてグループワークを行います。多言語多文化共生力や行動力・発信力を身につけることを目指します。

pick up! 授業

社会発信型プロジェクトワーク

数名のチームが協働して活動し、課題の掘り下げや調査分析、解決への道筋を探るための研究会等の企画・運営などの活動を行います。成果をインターネット・コンテンツなどで効果的に発信することにより、社会に向けて日本を発信したり、共生社会を作り出す上での課題やその解決のための方策を見つけ出したりする能力を身につけます。

pick up! 授業

教育支援フィールドワーク

日本語教育を含む、外国語教育の理論や教授法について理解し、教室活動への応用を考える授業です。日本人の学生と、これまで様々な形で日本語教育を受けてきた海外出身の学生がそれぞれの知見、経験を活かし、クラス内で実際に教室活動を行います。国内・海外で日本語教育を行ってきた教員が指導し、様々な観点から新しい教室活動の可能性を探ります。

pick up! 授業

多文化社会論

いわゆる「歴史問題」（東アジアにおける帝国主義と戦争の後遺症）が特に日韓関係における大きな課題となっています。この分野の諸問題を複数の方向から考えるディベート型の授業を行います。また、フィールドワークを通じて戦争と平和について実感します。

TOPIC

セントラル・ランカシャー大学 (UCLan、英国) とのダブル・ディグリープログラム

イギリスのセントラル・ランカシャー大学とのダブル・ディグリープログラムを、2021年度から開始しました。要件を満たせば、4年で双方の大学の学士の学位を取ることが可能です。

TOPIC

海外の日本研究者による先端的かつ多彩な講義

ロンドン大学SOAS、フランス国立東洋言語文化学院、ライデン大学から研究者を短期・長期に招へいし、教養科目（教養日本力科目）において国際的視座から日本を見た先端的かつ多彩な講義を開講しています。

進路決定をサポート

就職支援



就職支援を Web でチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/job.html>

本学では学生一人ひとりが自立した社会人・職業人として、生きがいと働きがいに満ちた人生を送れるよう自らの人生を設計し、主体的な進路選択、職業選択を行うことを支援します。その中心を担うグローバル・キャリア・センターは、各種ガイダンス、セミナー、免許・資格取得の支援など、学生一人ひとりが納得のいく進路を決定できるようサポートを提供します。また、国内外におけるインターンシップを実施するほか、キャリアに関する知識を学ぶことができる科目を多数用意し、自らのキャリアを考える機会を設けています。なかでも1・2年生を対象とした単位認定インターンシップは、学生生活で学ぶべき目標をみつめられると人気です。

就職

納得のいく進路が決定できるまで細やかにサポート

就職活動ガイダンスや企業セミナーに参加し、本格的に就活開始

4年

3年

留学やインターンシップに参加して、世界や社会を学ぶ

グローバルビジネス講義等、キャリア形成に役立つ授業を履修

2年

入学

● 就職者数上位企業一覧 (2015～2019年度卒業者)

■公務
東京都庁
外務省
防衛省
国土交通省
横浜役所(神奈川県)
警視庁

■情報通信業
日本放送協会(NHK)
(株)朝日新聞社
(株)日本経済新聞社
読売新聞グループ
(社)共同通信社
(株)NTTデータ
楽天(株)
グーグル(同)
ソフトバンクグループ
日本ビジネスシステムズ(株)
(株)ワークスアプリケーションズ
日本オラル(株)

■鉱業、採石業、砂利採取業
国際石油開発帝石(株)

■製造業
ダイキン工業(株)
トヨタ自動車(株)
パナソニック(株)
スズキ(株)

本田技研工業(株)
富士通(株)
三菱電機(株)
富士フイルム(株)
(株)日立製作所
JXTGエネルギー(株)
(株)東芝
日野自動車(株)
日本製鉄(株)
日本アイ・ピー・エム(株)
いすゞ自動車(株)
川崎重工業(株)
(株)ブリヂストン
(株)小松製作所
沖電気工業(株)
日本電気(株)(NEC)
富士電機(株)
(株)豊田自動織機
日産自動車(株)
三井化学(株)
横河電機(株)
京セラ(株)
カシオ計算機(株)
住友電気工業(株)
三菱自動車工業(株)
矢崎総業(株)

■建設業
JFEエンジニアリング(株)

■電気・ガス・熱供給・水道業
電源開発(株)J-POWER

■運輸業、郵便業
全日本空輸(株)
日本通運(株)
日本航空(株)
東日本旅客鉄道(株)
(株)商船三井
(株)二葉
(株)日立物流
三菱倉庫(株)
郵船ロジスティクス(株)

■金融業、保険業
(株)三井住友銀行
大和証券(株)
(株)みずほフィナンシャルグループ
(株)三菱UFJ銀行
(株)損害保険ジャパン日本興亜
東京海上日動火災保険(株)
SMBC日興証券(株)
三井住友海上火災保険(株)
(株)ジェーシービー
明治安田生命保険(相)
三井住友信託銀行(株)
アフラック

■卸売業、小売業
三菱商事(株)

住友商事(株)
三井物産(株)
丸紅(株)
伊藤忠商事(株)
伊藤忠丸紅鉄鋼(株)
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
豊田通商(株)
(株)メタルワン
(株)ニトリ

■学術研究、専門・技術サービス業
アクセンチュア(株)
アビームコンサルティング(株)
(株)イデア・インスティテュート
デロイトトーマツコンサルティング(同)
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
(株)クニエ
森・濱田松本法律事務所
(株)セブテーニ・ホールディングス
(株)野村総合研究所
(株)半導体エネルギー研究所
PwCコンサルティング合同会社

■サービス業、その他
(独)日本貿易振興機構(JETRO)
(株)パソナ
JTBグループ

キャリア・アドバイザー

経験値の高いキャリア・アドバイザーによる進路・就職に関する面談を受けることができます。進路選択、就職活動、面接対策などについての個別相談に応じています。



外交官等国家・地方公務員プログラム

ひとくちに公務員といっても、その業務内容はとても多様であり、それぞれの職務に応じた広い知識と高い理解力が求められています。本プログラムにより、進路選択と受験準備を支援しています。
Web でチェック



2022 年度

入学試験情報



入試情報を Web でチェック！
<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/>

募集人員 ※最新情報は「受験生ナビ Hello! TUFS」で公表します。

言語文化学部 言語文化学科

募集単位（言語）	前期日程	学校推薦型	入学後の専攻地域	
英語	36 人	5 人	北西ヨーロッパ・ 北アメリカ	
ドイツ語	22 人	3 人	中央ヨーロッパ	
ポーランド語	12 人	2 人		
チェコ語				
フランス語	22 人	3 人	西南ヨーロッパ	
イタリア語	12 人	2 人		
スペイン語	25 人	3 人	イベリア・ラテンアメリカ	
ポルトガル語	11 人	2 人		
ロシア語	21 人	3 人	ロシア	
ロシア語及びウズベク語	9 人	2 人	中央アジア	
モンゴル語				
中国語	23 人	3 人	東アジア	
朝鮮語	12 人	2 人		
インドネシア語	19 人	3 人	東南アジア	
マレーシア語				
フィリピン語				
タイ語	23 人	5 人		
ラオス語				
ベトナム語				
カンボジア語				
ビルマ語				
ウルドゥー語	19 人	3 人	南アジア	
ヒンディー語				
ベンガル語				
アラビア語	24 人	4 人	中東	
ペルシア語				
トルコ語				
計	290 人	45 人		

(注1) 前期日程の募集人員には、各言語とも帰国生等特別推薦選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含む。
(注2) 学校推薦型選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

国際日本学部 国際日本学科

前期日程	学校推薦型選抜	帰国生等特別推薦選抜	留学生を対象とする選抜	
			日本留学試験利用選抜	海外高校推薦選抜
35人	10人	若干名	20人	10人

(注1) 前期日程の募集人員には、帰国生等特別推薦選抜の募集人員若干名を含む。
(注2) 学校推薦型選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。

国際社会学部 国際社会学科

募集単位(地域)	前期日程	後期日程	学校推薦型	入学後の専攻言語
北西ヨーロッパ／北アメリカ	20人	5人	2人	英語
中央ヨーロッパ	28人	6人	2人	ドイツ語
				ポーランド語
				チェコ語
西南ヨーロッパ	27人	8人	2人	フランス語
				イタリア語
イベリア／ラテンアメリカ	29人	7人	3人	スペイン語
				ポルトガル語
ロシア	17人	3人	2人	ロシア語
				ロシア語及びウズベク語
中央アジア	13人			モンゴル語
東アジア	30人	7人	3人	中国語
				朝鮮語
東南アジア第1	15人	4人	2人	インドネシア語
				マレーシア語
				フィリピン語
東南アジア第2	22人	4人	2人	タイ語
				ラオス語
				ベトナム語
				カンボジア語
				ビルマ語
南アジア	15人	4人	2人	ウルドゥー語
				ヒンディー語
				ベンガル語
中東	19人	5人	2人	アラビア語
				ペルシア語
				トルコ語
アフリカ	10人	3人	2人	英語
オセアニア	9人	-	1人	英語
計	254人	56人	56人	

(注1) 前期日程の募集人員には、各地域とも帰国生等特別推薦選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員若干名を含む。
(注2) 学校推薦型選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、その欠員分は、前期日程の募集人員に加える。
(注3) 「募集単位(専攻地域)」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

学校推薦型選抜

学校長の推薦等に基づいて選考する「学校推薦型選抜」を実施しています。
●推薦人数：言語文化 / 国際社会 / 国際日本学部ごとに1校あたり1名
●出願資格：高等学校または中等教育学校を2021年4月1日～2022年3月31日までに卒業(もしくは見込み)で、推薦要件を満たす者

詳細は Web をチェック <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/exam/guidelines/>



各入学試験について ※最新情報は「受験生ナビ Hello! TUFS」で公表します。

入試区分	実施学部	概要	出願日程	募集要項 公表時期
一般選抜 (前期日程)	●言語文化学部 ●国際社会学部 ●国際日本学部	大学入学共通テストと本学学力検査「外国語(英語)」「外国語(英語スピーキング)」「地理歴史(世界史または日本史)」の成績等で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
一般選抜 (後期日程)	●国際社会学部	大学入学共通テストと本学学力検査「小論文」の成績等で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
学校推薦型選抜	●言語文化学部 ●国際社会学部 ●国際日本学部	出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び本学学力検査等を免除して、英語外部試験スコア等の出願書類、小論文及び面接により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。	11月初旬	8月下旬
帰国生等 特別推薦選抜	●言語文化学部 ●国際社会学部 ●国際日本学部	外国の教育制度に基づく教育機関(国内の国際バカロレア(DP)認定校を含む)において、中等教育を受けた者を対象に、外国における教育事情の違いに配慮し、英語外部試験スコア等の出願書類、小論文及び面接により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。	11月初旬	8月下旬

この他、留学生を対象として、「私費外国人留学生選抜(言語文化学部/国際社会学部)」「日本留学試験利用選抜(国際日本学部)」「海外高校推薦選抜(国際日本学部)」が実施されます。

入試に関するお知らせ

- 一般選抜試験(前期日程)では全学部で英語スピーキングテスト(BCT-S)を実施します。

英語スピーキングテスト(BCT-S)のサンプルテストにチャレンジ!
<https://www.britishcouncil.jp/exam/bct-s/about>



- 2023年度入学者の一般選抜試験(前期日程)より、大学入学共通テストの教科「数学」について、これまで数学①と数学②のうち、いずれか1科目を必須とし、複数の科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を利用していましたが、数学①と数学②の2科目の受験を必須とします。これに伴い、配点も下記の通り変更します。

試験区分	教科						合計
	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	
大学入学共通テスト	100点	(変更前 50点) 100点(50点×2科目)	(変更前 200点) 150点	100点(50点×2科目)			450点
本学学力検査	—	—	300点	100点	—	—	400点
計	100点	100点	450点	200点			850点

※本学学力検査の外国語は、筆記試験300点と英語スピーキングテスト50点の合計350点を300点満点に換算します。



国立大学法人 東京外国語大学

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
<http://www.tufs.ac.jp/>

入試に関するお問い合わせ先(入試課)
 入試情報: Tel 042-330-5179
 その他: Tel 042-330-5158

2021年3月31日発行

東京外国語大学 受験生向け Web サイト

受験生ナビ Hello! TUFS で最新情報をチェック!

<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/>

入試の重要なお知らせ、オープンキャンパス・進学相談会・体験授業、過去問、志願者数など受験生必見の情報が盛りだくさん。そのほか、学べること、サポート体制、キャンパスライフなど、さまざまな情報を掲載しています。TUFS アンバサダー(学生大使)が、在学生の日常生活、留学、サークル活動などの情報をブログ「VOICES」で発信しています。資料請求方法等も本サイトをご覧ください。



QRコード
 対応する携帯電話で
 コードが読み取れます